

吉林省自学考试、职称考试辅导教材

主编 肖 平 朱立军



日语

快速阅读

(修订本)

第2册



东北师范大学出版社

450455

日语快速阅读

(修订本)

第2册

主 编	肖 平	朱立军
副主编	于环萍	
审 校	徐 冰	

江苏工业学院图书馆
藏书章

东北师范大学出版社

(吉)新登字 12 号

D255/54

日语快速阅读

RI YU KUAI SU YUE DU

(修订本)第二册

主编 肖 平 朱立军

责任编辑:金 娜 封面设计:李冰彬 责任校对:佐 群

东北师范大学出版社出版 东北师范大学出版社发行部发行
(长春市人民大街 138 号) 吉林农业大学印刷厂制版
(邮政编码:130024) 吉林农业大学印刷厂印刷

开本:787×1092 1/16 1998 年 10 月第 1 版
印张:13 1998 年 10 月第 1 次印刷
字数:240 千 印数:0 001—4 000 册

ISBN 7 - 5602 - 0570 - 2/H • 58

定价:13.00 元

修订版前言

《日语快速阅读》是参照国家教委最新颁布的《大学日语教学大纲》及《日语专业基础阶段大纲》编写的一套日语快速阅读教程。

本书强调知识性、趣味性和教育性的统一，主要具有以下几个特点：

1. 题材广泛，文理兼顾，内容新颖，通俗易懂。

2. 课文内容均选自日文原版书籍（略有删改），保证了语言的规范和标准。

3. 作为快速阅读书籍，主要着眼于培养学习者的阅读速度和读解能力，强调在单位时间内准确快速地获取所需信息。因此，要求学习者在20~30分钟内读完每篇课文并迅速回答出读解练习中所提出的问题。每次练习后，教师和学习者可及时记录阅读和完成练习所需要的时间及答案的正确率，以便日后进行评估。

4. 本书主要对象：高等院校日语专业的基础阶段及公共日语，非日语专业研究生，各类自学考试日语考生，中学教师，以及其它各界具有一定基础的日语学习者。

《日语快速阅读》自出版以来受到广大使用者的热情关怀和支持，读者们希望我们对原版进行修订，增加译文部分。我们在原书的基础上作了若干修改和补充，增添了词组解释并附有参考译文。修订版由两部分组成，第一部分是原文，第二部分是译文。为了便于读者阅读译文，一方面使它尽可能接近原文结构，另一方面做到文字通顺，符合汉语表达习惯。希望它能对朋友们的学习有所帮助。译文由赵晶华、朱立军译。

参加本书编写和修订工作的主要有肖平、李若柏、祝大鸣、杨金萍、于环萍、卢丽、徐曙、苑仁海、金玉子、林岚、曹敏、蔡旭阳、李旭光、崔肃京、鲁燕、赵晶华、朱立军、王闯等。东北师大外语系徐冰副教授对全稿做了统校，谷学谦教授给予热情支持和帮助，在此深表谢意。

本书若有疏漏不当之处，恳请读者批评指正。

编者

1997年7月

目 录

1. 悪霊に魅入られた少年	(1)
2. 草原の狩人	(5)
3. 神秘的な日食	(9)
4. 日本人の親族関係——家・家族・世帯	(12)
5. 赤十字の父	(16)
6. 恐怖の雨	(20)
7. 何もありませんが.....	(24)
8. ノア作戦	(28)
9. 体を守る皮膚	(32)
10. 裸者と死者	(35)
11. シェクスピアの面白さ	(39)
12. 時計の上手な選び方	(42)
13. 嫌速嫌音	(45)
14. 日本経済の光と影	(48)
15. ロバ	(52)
16. 青の洞門	(55)
17. 阿ソ	(59)
18. 減量作戦	(62)
19. ロボット	(65)
20. 一掬いのご飯	(68)
21. 正月の祝い膳	(72)
22. 「ねこ」という言葉	(76)
23. 他人と遠慮	(79)
24. ソロモン王の秘宝	(83)
25. 当てにならない学説	(87)
26. 病院がよい	(90)
27. 渡り鳥	(93)
28. 女王陛下の握手	(96)
29. 線香花火	(100)

30. 男女の敬愛	(103)
31. お月見	(107)
32. 植物の上陸	(110)
33. 山田耕筰	(114)
34. まねっこ	(118)
35. 日本人の悲劇	(121)
36. サルの音声	(124)
37. もう一つの感覚	(127)
38. 食物忌避現象	(130)
39. 藤野先生	(133)
40. 偏見の厚い氷を破りたい	(137)
读解练习答案	(141)
附录:译文(1—59 页)	

1. 悪霊に魅入られた少年

1944年のある日、モロッコのカサブランカで開業していたナタリー・モナート医師は、病気のときいつも治療していたアンリ・ドラルトの訪問を受けた。

「先生、実は息子とはんでもないことになったのです。アラーの神に幸いあれ!」

ドラルトは天を仰いで嘆願するように言った。

「それを詳しく話してごらん。」

そこでドラルトは、話し始めた。

息子は18歳だった。うっかり悪い友だちでもできようものなら、良からぬことを覚えるごろだった。それだけに、ドラルトの息子の教育に対する態度は非常に厳格だった。

学校の授業が終わったらすぐ家に戻ることに、友だちとよそへ遊びに行くことなどは絶対に許さなかった。

2カ月ほど前、息子は夜になってから戻ってきた。父親のドラルトは、一応叱った後、翌朝本式に怒ることにしてベッドにはいった。

母親は、息子がどんなに叱られるか、それを考えるとベッドにはいってもなかなか寝られなかった。彼女は息子の部屋のほうに足音を聞いた。それはかすかな音だったが、耳をすますと、廊下を通して浴室のほうへ行く。

やがて30分ほどになったが、息子が浴室から出てくる気配はない。彼女は少し心配になった。そこで、寝室を出ると浴室の前へ行った。ドアにはなかから鍵がかけられている。彼女は、小さな声で、

「ピエール、あんた、浴室で長い間何をしているの？ 気分でも悪いの？」

とたんに浴室のなかからかん高い女の声が聞えた。

「あんたったら、馬鹿な人ね。あんたの息子は酔ってなんかいなくてよ。それから、あたしのことを、あんたの息子と言わないで頂戴。あたしは、あんたの息子の体のなかにはいってしまったのだから。」

ドラルトの妻は、驚いて寝室へ戻ると、夫をやり起して、たった今経験した浴室の顛末を話した。ドラルトは、すぐに浴室へ行くと、ドアを蹴破ってなかへはいった。

なかには息子のピエールがいた。しかし、そのピエールは、彼の真の息子のピエールではなかった。女の声でドラルトに笑いかける悪魔のようなピエールだった。

翌日、ドラルトは、悪霊に魅入られたピエールを、精神病医のピアスン博士のところへ連れて行った。博士の診察の結果は、息子が精神に異常を起したものらしい。これは、ベレシッドの精神病院へ入れて、治療を受けなければいけないと言われた。

ところで妙なことが発見された。それは、ピエールにモロッコ式の礼儀作法を教えているフキーという男が、ピエールに乗り移っている女のしゃべる言葉は現代のモロッコ語ではなく、

昔のモロッコ語で、どちらかという

とエジプト語に近いと言ったものである。

フキーは、折を見て、少女の言葉を話すピエールにいろいろ尋ねてみた。そして驚くべきことを知ったのである。

彼女はフキーが想像していたように、大昔——つまりそのへんの人々が、まだエジプト語を使っていた時代に死んだ十八歳の少女だった。

ところが彼女の霊は、同じような年配の少年か少女を見付け、その体に移り移って、いつまで現在の生活を楽しんでいたか。

彼女に言わせると、酒を飲んで真の自分というものを忘れている人間、または恐怖のため自分の本心を失っているものなどは、まるで人間の抜けがらみたいで、そういう人の肉体には容易に入りこんで、その人になることができる。

あの晩のピエールは、酒を飲んでおり、父親に叱られるのを恐れて、身もそぞろだった。彼女のねらう絶好の状態にあった。

彼女は、このようなことを遠い昔から今日まで何千回と繰り返してきたのである。

数日後、フキーは魔法医者連れてきて、死者の悪霊に魅入られたピエールと対決することになった。

魔法医者はピエールに向って意味の分からない呪文のようなものを唱えた。

すると、ピエールに取りついてエジプトの少女は、身をもだえるようにして叫び、唇をかみしめ、顔からは油汗をタラタラ流していたが、やがて絶えいるような叫び声を発すると、その場に倒れて石のように動かなくなった。

「悪霊は去りました。ご安心ください。」

魔法医者は、そういうとフキーと帰って行った。まもなくピエールは目を開くと、床から立ちあがって、

「ぼくは、いったいここで何をしていたの？」

両親は久しぶりにピエールの声を聞くと、両方から彼をかたく抱きしめた。

(黒沼健著 「第二の世界物語」による)

[読解練習]

1. 病気にかかった人は、_____である。
A. モナート
B. ドラルト
C. ピエール
D. フキー
2. ドラルトはなぜ息子にあんな厳しい態度を取っているのか。
A. 学校の授業があまり負担がないから

- B. 悪い友だちができないように用心深く思っているから
 - C. 息子が良からぬことを覚える年ごろになったから
 - D. いつも友だちとよそへ遊びに行くから
3. 母親はなぜなかなか寝られなかったのか。
- A. 息子さんがどんなに叱られるかを心配するから
 - B. 父親が翌朝本式に怒ることを心配するから
 - C. 彼女が息子の部屋のほうに足音を聞いたから
 - D. 息子が廊下を通して浴室のほうへ行ったから
4. 息子がなぜ浴室からなかなか出て来ないのか。
- A. 鍵がかけられているから
 - B. 母親が外で待っているから
 - C. 父親を恐れているから
 - D. 悪霊の女に体のなかに魅入られたから
5. 悪霊に魅入られたピエールは、_____。
- A. 女の人が変わった
 - B. 女の声が変わった
 - C. 浴室のドアを蹴破って出て来た
 - D. 女の様子をして父親に笑いかけた
6. ピエールに乗り移ってる悪霊のしゃべる言葉は、_____である。
- A. 昔のモロッコ語
 - B. 昔のエジプト語
 - C. 現代のモロッコ語
 - D. 現代のエジプト語
7. ピエールの体に入った悪霊はどんな人だと想像されたのか。
- A. ピエールと年配の少年
 - B. 大昔に死んだエジプトの少年
 - C. 大昔に死んだエジプトの少女
 - D. 大昔に死んだモロッコの少女
8. あの晩のピエールはなぜ悪霊のねらう絶好の状態になったのか。
- A. ピエールが酒を飲んでから浴室に入ったから
 - B. ピエールが酒を飲んで父親に叱られるのを恐れるから
 - C. ピエールが真の自分を忘れていたから
 - D. ピエールが人間の抜けがらみたいになったから
9. 悪霊はなぜピエールの体から離れたのか。
- A. 悪霊はほかの少年を発見したから
 - B. ピエールが意味の分からない呪文を唱えたから
 - C. 魔法医者に呪文で追いかけられたから
 - D. 悪霊がもうピエールにあきれたから

[難しい言葉]

- ①魅入る（みいる）/附体，附身，被……迷住
- ②アラー/（伊斯兰教）安拉，真主
- ③嘆願（たんがん）/请愿
- ④寝つく（ねつく）/入睡，睡着
- ⑤抜けがら（ぬけがら）/（蝉、蛇等）蜕下的壳皮，打不起精神的人
- ⑥そぞろ/飘飘然，心里不平静
- ⑦魔法医者（まほういしゃ）/巫医
- ⑧とりつく（取り付く）/迷住，病魔（缠住）
- ⑨もだえる/（由于病苦而）拼命挣扎、扭动身子
- ⑩気配（けはい）/苗头迹象
- ⑪かん高い（かんだかい）/尖锐的高亢的
- ⑫乗り移る（のりうつる）/附体
- ⑬颠末（てんまつ）/始末，原委
- ⑭対決（たいけつ）/对质，对证
- ⑮油汗（あぶらあせ）/急汗

[注]

- ①モロッコ/摩洛哥。
- ②カサブランカ/（摩洛哥）卡萨布兰卡。
- ③ナタリー・モナート医師/纳塔利·莫纳特医生。
- ④アンリ・ドラルト/安利·德拉鲁特（人名）
- ⑤ピエール/皮埃尔（人名）。
- ⑥ピアスン博士/皮亚斯博士（人名）。
- ⑦ベレシッド/贝莱西德（人名）。
- ⑧フキー/弗吉（人名）。

2. 草原の狩人

百獣の王ライオンが獲物を襲う有様は、映画などではよく見るが、実際はめったに見られることではない。ある本に「アフリカで、野生動物を相手に生活をしている人でも、ライオンが獲物を殺す場面を見るチャンスは、20年に1回もない」と書いてあるほどである。

それを、私は観察することができた。東アフリカのセレンゲティ大平原での出来事である。

ここには、ガゼル、ヌー、インパラなどのレイヨウ類や、シマウマ、キリンなど、主に草や木の葉などを食べて暮す有蹄類が、30万頭ほども群れている。そして、これらの草食動物を獲物にして、500頭から1000頭ほどのライオンが暮している。

1966年に、私はそこへ動物の観察に出かけた。ある朝、私は自動車に乗って、一頭の雄に七頭の雌、それに四頭の子供からなるライオンの群れの後をつけていった。草原の向こうはトムソンガゼルの群れが見える。

大きな雄ライオンは前足を獲物の血で染めていた。群れはみんな同じ方向に歩いていたので、私はてっきり、眠りにくいのだと思っていた。ライオンが獲物を襲う時、獲物を追い出すグループと、待ちふせをするグループに分かれて行動することが多いからである。

ライオンたちは少し広がって歩いており、子ライオンの母親と見れる雌も、一番右端を歩いていた。

ライオンを見つけたトムソンガゼルたちは耳を向けて注意している。かれらはいつもライオンが走り寄ってくれば、振り切って逃げられるだけの間合を置いている。普通なら、ライオンが襲ってきても、トムソンガゼルたちはみんなクモの子を散らすように、安全な場所まで逃げていってしまう。

なにしろ、ライオンが全力疾走できるのはせいぜい百メートルから200メートルくらいである。その後はぐんとスピードが落ちる。トムソンガゼルが百メートルも逃げてしまうと、ライオンは追うのをあきらめてしまう。けれども、この時は違う。クモの子を散らすように逃げたうちに、一頭のトムソンガゼルがライオンの群れの真中に入ってしまったて、一瞬たじろいだ。それはまだ子供から大人になりかけの、犬より少し大きいくらいのがゼルであった。

たじろいだ隙を、ライオンは見逃さない。

二頭の雌ライオンがばっと飛びかかった。少しすくれながら、雄ライオンも踊りかかった。或いは雄は雌の獲物を横取りにいったのかもしれない。とにかく、物凄い砂煙が舞い上がった。なにも見えなくなった。

「ガオーっ」といった、吠え声がしたかもしれないが、私は夢中で見ているだけだった。

砂煙が収まると、トムソンガゼルの姿は見えない。ただ、口からだらりと肉切れをぶら下げた雄ライオンがゆうゆうと私たちの自動車の傍まで来た。そして、腹ばいになると、肉を食べ始めた。ポツ、ポツと、音がする。骨を噛み砕く音である。

私たちは自動車を近付けた。窓から覗くと、雄ライオンはじろりと私を睨んだ。口のわきから大きな肉の塊を食み出させながら――。

トムソンガゼルを食べたのは群れの中の三頭だけだった。雄が一番たくさん食べた。はじめにガゼルを襲った雌には獲物の分け前はない。子ライオンは食べたらしく、雄の回りをうろうろしていた。ほかの雌は雄に近付きもしない。

雄は子ライオンに見向きもせずに食べる。雄は子供に獲物を分けるところか、近付き過ぎると、殺すことさえあるということである。

わずかの時間で、ライオンの狩りは終わり、ライオンたちは立ち去った。私は雄が食べていた場所を覗こんだ。草が少し血で濡って黒ずんでいるだけで、ほかになんの変ったこともない。若いトムソンガゼルは何もかも残さず、全く地上から消えうせてしまったのである。

ところで、獲物を引き裂くところを目の前で見ると、ライオンは全く百獣の名に相応しい猛獣である。それに引き換え、殺されたガゼルは哀れである。

それでは、獲物を殺すライオンは残酷であろうか。その場面だけ見れば、残酷だとも言えるが、これは人間が戦争で殺し合うのとは違う。同じ種類同士の戦いではない。まして狩りょうのように、楽しみで殺すのではない。ライオンが獲物を殺すのは、生物の世界の決まりに基づいて、生きるためなのである。

(小原秀雄著「動物生態」による)

〔読解練習〕

1. めったに見られないのは、_____である。
 - A. 百獣の王ライオン
 - B. ライオンが獲物を襲う様子
 - C. ライオンが獲物を殺すという映画
 - D. ライオンが獲物を襲うという本
2. _____が有蹄類動物である。
 - A. ライオン
 - B. ガゼル
 - C. シマウマ
 - D. オオカミ
3. ライオンが獲物を襲う時、_____ことが多い。
 - A. ニつのグループに分かれて行動する
 - B. 一緒に行動する
 - C. 雄だけで行動する
 - D. 雌だけで行動する
4. トムソンガゼルたちは、ライオンを見付けた時、_____注意する。
 - A. 力をそそいで

- B. 耳が立って
C. 傾注して
D. じっとして
5. トムソンガゼルたちはみんな_____, 安全な場所まで逃げてしまった。
A. あっという間に
B. ばらばらになって
C. めちゃくちゃになって
D. クモの子を散らすように
6. ライオンがガゼルを追うのをあきらめるのは, _____からである。
A. 200メートル以上疾走できない
B. ガゼルが隠れて見えなくなる
C. ガゼルが100メートル以上も疾走できる
D. 疲れてしまう
7. ライオンの群れの真中に入ってしまったのは, _____である。
A. 自動車
B. ガゼル
C. 犬
D. 年取ったガゼル
8. 雄ライオンは, 大きな肉の塊を食み出させながら, _____。
A. 私を睨んだ
B. 自動車に歩いて来た
C. 窓から覗いた
D. 獲物を見た
9. 雄は獲物をしてから, 子ライオンに, _____。
A. すこし分けてやる
B. たくさん分けてやる
C. すこしもやらない
D. 全部やる
10. ライオンが獲物を引き裂く様子を見ると, _____と思う。
A. 残酷すぎる
B. 強さがある
C. 弱い動物が哀そうだ
D. なるほど百獣の王だ

〔難しい言葉〕

- ①狩人（かりゅうど）/ 猎人, 猎手
②ガゼル/ 斑羊
③ヌー/ 牛羚（俗称角马）

- ④レイヨウ/羚羊
- ⑤待ちふせ（まちふせ）/埋伏，伏击
- ⑥たじろぐ/畏缩，后退
- ⑦はらばい/趴下
- ⑧食み出す（はみだす）/（由中间）溢出，挤出，露出
- ⑨かみ切る（かみきる）/咬断，咬破
- ⑩分け前（わけまえ）/（自己）应得的份儿
- ⑪黒ずむ（くろずむ）/发黑，稍带黑色
- ⑫ハイエナ/猎狗
- ⑬引き裂く（ひきさく）/折开，撕开，撕破
- ⑭獲物（えもの）/战利品
- ⑮てっきり/果然，一定，准是
- ⑯間会（まあい）/机会
- ⑰横取り（よこどり）/夺抢
- ⑱クモの子を散らす/四处奔逃

〔注〕

- ①セレンゲグティ大平原/萨林格特大平原，位于东非坦桑尼亚境内。
- ②インパラ（インパーラ）/产于非洲的一种羚类动物。奔跑速度可与袋鼠相匹敌。
- ③ガゼル/斑羚，产于非洲，西亚等地。
- ④ヌー/牛羚（俗名角马）。产于南非形状类似牛。

3. 神秘的な日食

日食は、地球と太陽との間に月が挟まって太陽を一時的に隠す現象である。

月は地球の回りを約 29 日の周期で回っている。月は約一月に一度ずつ天空上で太陽の近くにやってくる。この時、地球に向いた月の面は陽が当たらず、影になる。その時の月を「新月」と呼んでいる。従って日食は新月に起こるはずである。

地球が太陽の回りを回る面を「黄道面」と言い、月が地球の回りを回る面を「白道面」と呼んでいる。もし、黄道面と白道面とが、同じ面内にあるなら、日食は新月のたびごとに起こるはずである。しかし、実際には、白道面は黄道面に対して約 5° 傾いているので、新月のたびごとに、月と太陽とがちょうど重なることはなく、月は太陽の北側を、或いは南側を通り過ぎる。ところが、一年に何回かは、月と太陽とが重なり合うことがあるけれども、多くの場合には、地球は月の半影の部分に入るので、太陽の一部だけが隠れる「部分日食」となる。

太陽と月の直径の比は $400:1$ になっている。一方、地球から太陽までの距離は、地球から月までの距離の約 400 倍あるので、地球から見て、太陽も月もほぼ同じ大きさに見える。地球も月も、それぞれ太陽、地球を焦点とする円軌道を回るので、地球と太陽、地球と月の間の距離は、ともに絶えず変化する。月と太陽とが重なって「食」が起こる条件にある時で、月の見かけの大きさが太陽のそれより大きい時は、太陽全面が隠される「皆既日食」が見られ、月の見かけの大きさが太陽のそれより小さい時は、太陽の周辺が月の縁からリング状に食み出す「金環日食」となる。

皆既日食は、地球上のどこでも見られるわけではなくて、ある限られた地域でしか見られない。条件のよい時には、月の影は地表を約 300 キロの幅で数千キロの長さにわたって通り過ぎていく。この帯の中ではどこでも皆既日食が見られる。しかし、皆既日食の継続時間は、日食帯のどこで見るかによってたいへん異ってくる。もっとも条件のよい場合でも、皆既日食は七分 40 秒しかなく、短い時には一秒以下のことさえある。——皆既日食束の間のできごとなのである。

皆既日食の時には、月が太陽を蝕み始め、太陽は次第に痩せ細っていく。そして月が太陽面をすっぽりと覆い隠してしまったその瞬間、黒い太陽の外側にはそれまで全く見えなかった真珠色の美しいコロナが映し出される。太陽のこのみごとな変貌ぶりはまことにドラマチックである。

光球のほんの一部でも隠されずに残っている限り、回りの空がどんなに暗くなっても、コロナはその姿を現さない。だから、太陽がリング状に残る金環食の時には、コロナを見ることはできない。

きらきら輝く光球の光の強さに比べて、コロナの淡い光は、およそ百万分の一ぐらいの強さしか持っていない。ふだん、コロナは強烈な光源である光球の散乱光によって完全に覆い隠

されている。光球の光を散乱するのは、主に地球の大気に含まれるちりなどである。

日食は自然現象である。今日では、私達は日食が世界のどこでいつ起こり、それが何分間継続するかという日食予報を容易に手に入れることができる。日食の起こるずっと前から、日食についての記事が新聞や雑誌に掲載される。当日ともなれば、テレビやラジオを通じて、日食が起こることは多くの人々に知らされるから、私達にとって日食が突然起こるという感覚は全くない。

しかし、日食の予想ができなかった、或いは情報が行き渡らなかった時代には、人々にとって日食は不意に襲ってくる気味な現象とされた、突然かけ始めた太陽はみるみるうちに、輝きを失い、まるで夜のように暗く、そして寒くなる。

神と仰ぐ太陽のこの突然の変貌に、人々は恐れおののき、不吉な前兆と見たに違いない。古代ギリシヤでは、戦士たちが日食に驚いて、戦いを放棄して逃げたという。戦争のさなかに起こった日食は、戦士たちを恐怖に陥れ、その結果れきしの流れを一度ならずかえた、ともいわれている。

20世紀に入ってからでも、一部の未開地では、なお日食を恐れる風習が残っている。

(甲斐敬造著「太陽のドラマ」による)

〔読解練習〕

1. 日食は_____現象である。
 - A. 地球、月と太陽の位置が一直線になった時に起こる
 - B. 地球が太陽と月の間に挟まって月を一時的に隠す
 - C. 月が地球と太陽の間に挟まって太陽を隠す時に起こる
 - D. 太陽が地球と月の間に挟まって月を隠す
2. 「白道面」というのは_____を回る面である。
 - A. 月が地球の回り
 - B. 月が太陽の回り
 - C. 地球が太陽の回り
 - D. 太陽が地球の回り
3. 日食は必ずしも新月のたびごとに起こらないのは、_____からである。
 - A. 黄道面と白道面とが同じ面内にある
 - B. 黄道面と白道面の距離が違い
 - C. 黄道面が白道面に対し、5度ぐらい傾いている
 - D. 月が約一カ月に一度しか太陽の近くにやっこない
4. _____の比は400:1である。
 - A. 地球から太陽までの距離と、地球から月までの距離
 - B. 太陽と地球の直径
 - C. 地球と月の直径

D. 月と太陽の直径

5. 「金環日食」は月と太陽とが重なり、_____に起こる。

- A. 月の見かけの大きさが太陽のそれより大きい時
- B. 月の大きさが太陽のそれより小さい時
- C. 月と太陽の見かけが同じ時
- D. 月の見かけの大きさが太陽のそれより小さい時

6. コロナは_____に現れる。

- A. 太陽の周あたりが月の縁からリング状に食み出す金環日食の時
- B. 皆既日食が発生する途中
- C. 太陽が月にすっかり覆い隠された時
- D. 月が太陽にすっぽりと覆い隠された時

7. ふだん肉眼でコロナを見ることができないのは、_____からである。

- A. 太陽の光りがコロナの光りより百万倍も強い
- B. 光球が光を散乱する
- C. 地球の大気にちりなどが含まれている
- D. コロナがである真珠色である

8. 日食は_____。

- A. 今日でも一部の未開地で自然現象ではない
- B. 昔は自然現象ではなかった
- C. 昔でも今日でも自然現象である
- D. 昔は不吉な前兆だったのが、今は自然現象になっている

〔難しい言葉〕

- ①束の間（つかのま）/瞬間
- ②蝕む（むしばむ）/侵蝕
- ③痩せ細る（やせほそる）/瘦瘠了
- ④ドラマチック/戏剧性，引人注目
- ⑤リング状（リングじょう）/轮状
- ⑥行き渡る（ゆきわたる）/普及
- ⑦恐れおののく（おそれおののく）/惶恐不安，惶恐万状
- ⑧さなか（最中）/最高潮，正当中
- ⑨ドウマツチック/戏剧性的
- ⑩不吉（ふきつ）/不吉

〔注〕

- ①コロナ/日暈，日全食时在太阳的周围可以看到的一种冠状淡光。